



# 寺ネット・サンガ通信 第10号

寺ネット・サンガ事務局 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4階

Tel 03-5201-3976・Fax 03-5201-3712・メール info@teranetsamgha.com

## 中下代表のブログ から



～ 共感力 ～

「中下大樹のブログ」（2014年3月9日）を編集

先日、福島県南相馬市にある仮設住宅を訪問した際、母親を津波で喪った50代の男性からこんな話を聞いた。

「311の震災直後、南相馬市で津波に流された母親の遺体を捜し回っていた時、もう疲れ果てて、途方に暮れていた。そんなある時、遺体安置所で、ボランティアの方が『祈っています』と一言だけ言って、温かいお茶をくれたことがあった。後で尋ねると、その方は、阪神・淡路大震災で我が子を亡くされたご遺族だった。本当の痛みと悲しみを知る人は、強く優しい。あの時の恩は一生忘れられない」と。

私達、人間は、善も悪も併せ持つ生き物である。

時に平気で人を傷つけ、愚かで残酷なこともしてしまう。

しかし、津波で流された遺体を探す遺族に対して「祈っています」という声をかけることも出来る存在でもあるのだ。

そして遺族はその「祈っています」という一言で救われ、その言葉が3年たった今でも忘れられないと言うのである。

祈りは同時に、「共感力」とも言い換えることが出来る。

東日本大震災の被災者だけでなく、世の中には様々な「痛み」を抱えながら生きている人がたくさんいる。

だが、私たちはそれらに「痛み」にどれだけ向き合い、共感することが出来ているだろうか？

家族・地域・会社といった縁が希薄化し、「無縁社会」と呼ばれる現代の日本。

「お前なんかダメだ」「お前の代わりなんかいくらでもいる」という言葉が至る所で蔓延している。誰しもが時間的・精神的・経済的な余裕を失いがちで、他人の痛み「共感」することすら難しい。自分さえ良ければ、自分の家族さえよければ、自分の会社さえ良ければ

マザーテレサはかつてこう言った。

『この世で最大の不幸は、戦争や貧困などではありません。

人から見放され、「自分は誰からも必要とされていない」と感じる事なのです』と。

あなたは今、目の前にいる人の「痛み」に共感できているだろうか？

そして、あなたご自身が抱えている「痛み」に対して、

誰か共感してくれる人がいるだろうか？

10月21日(月)

プチ法話「お骨の気持ち」

大田区 日蓮宗 永寿院住職 吉田尚英



お墓は故人との対話の場であり、祈りの場でもあります。自分のお墓が決まり安心して晩年を過ごすことができるという方もいます。亡き方にとって魂が宿るお骨やお墓は依代(よりしろ)です。お墓は歴史や文化を未来へ遺す大切な場所でもあります。お墓に眠る方々それぞれのかげがえのない人生を思い、お骨の気持ちを考えながら祈る姿に、亡き方もご先祖さまも喜んでいてのではないのでしょうか。

坊コン談義「無縁仏について」

「無縁という言葉がイメージしにくい」「最近是一緒にお墓に入る仲間(墓友)たちと生前に絆を深める動きがあるようだ」「無縁墓にはお花が絶えず、お参りも多い。そういう意味では「無縁」ではないのかもしれない」などの意見が出ました。

1月14日(火)

プチ法話「お坊さんアルアル」

平塚市 浄土宗 浄信寺住職 吉田健一



お世の中にはたくさんの職業がありますが「お坊さん」は謎が多い職業です。仕事なのか、生き方なのか、そこのところが難しい。儀式に対するニーズは縮小傾向にあり、お坊さん自身が社会の中で、自分たちの存在意義は何だろうと問われる時代になりました。死生観が失われつつある現在、同じ時代に生き、悩みを持つ人々と一緒に問題意識を共有していきたいと考えています。

坊コン談義「ここがききたい お坊さんって何？」Q&A

「Q.お坊さんになる前後で変わったことは? A.一本軸ができたようで、覚悟みたいなものができました」「Q.百年後、お寺はどうなっているでしょう? A.お寺の数は減っているかもしれないけど、仏の慈悲は変わらないから何とかかなるでしょう」など

2月25日(火)

プチ法話「予定は未定」

八王子市 浄土真宗 延立寺住職 松本智量



自分の予定が絶対のものであると思っていると、予定通りにいかなかった時に何者かに侵害されたように感じ、被害者意識を持ってしまうこともあるのではないのでしょうか。自分の都合を離れてやって来る「死」さえ、私たちはコントロールしたいと願います。同時に「思いのままにならない命を、私たちは生きている」ということを知ります。自分のコントロールの範囲外のこともあると受け入れるとラクになりますよ。

坊コン談義「最近何に怒りましたか？」

「ニュースで報じられる立場を忘れた失言問題について」「マナーを守らない人に対して。それを注意しようか迷っている自分に対して」「家庭内のごたごたや、身内に対して」など、人の怒りの感情というのはコントロールが難しいようです。

3月31日(月)

プチ法話「合掌の物語」

大田区 日蓮宗 永寿院住職 吉田尚英



思わず合掌してしまった瞬間9項目、①お布施を受け取るとき ②偉い人に挨拶するとき ③食事をするとき ④願い事をするとき ⑤子は親の鏡 ⑥神社や教会で ⑦逃げたいとき ⑧被災地で ⑨相手の仏が見えたとき。辛いことや悲しいことに直面した時、追いつめられた時も思わず合掌してしたり、亡き人への想いを込めて真剣に命に向き合う姿があります。その反面。形だけではいけないと反省することも多々あります。

坊コン談義「合掌するのはどんな時？」

「食事の時、家族やみんなで食事をする時には合掌をしないが、一人で食事をする時には合掌をする。自分でも今気がついて不思議に思う」「一日の終わりに合掌しながら感謝する。一日の良い事が思い出されて、良い気持ちで一日を終えることができる」など

第4段「お骨の行方」、第5段「本山めぐり」、番外編、中下企画を合わせて報告します。

第14回 11月9日(土)  
浄土宗蓮宝寺&多磨霊園



「ライフエンディング研究会について」 蓮宝寺 副住職小川有閑  
霊園で供養をする場合、短い会話の中で故人の話や説法をする難しさがあります。そこで生老病死のトータルサポートに関する活動を、葬祭業・石材店・保健師・医師などと僧侶が一緒になって展開し、生前からの縁を深めています。

### 「お骨の行方」多磨霊園巡拝

多磨霊園は大正12年に開園した国内初の都市計画共葬墓地です。維持することができなくなった墓地は返還され、1区画で広大な面積を持っていた墓所が10数区画に分割されていました。まさに不動産のミニ開発のようでお墓の世界も経済中心なのだと目の当たりにしました。お骨やお墓は、生きている私たちにとっても大切な存在であることを学びました。

番外編 12月17日(火)日  
本聖書神学校

メーヤー記念礼拝堂



### 「クリスマスの過ごし方」

日本基督教団 新宿コミュニティー教会牧師 中村吉基

日本では派手にクリスマスイベントを楽しむ風習が定着していますが、本来は11月30日にもっとも近い日曜日から4回の日曜日を経て12月24日までキリスト教会ではアドベントというクリスマスを待ち望む期間に入ります。4本の紫のキャンドルを日曜日ごとに灯し、クリスマス当日に真ん中の白いキャンドルを灯します。白いキャンドルは、闇のような世界で虐げられた人々にとって光のように現れたイエス・キリストを表しています。クリスマス当日までゆっくりと信仰と心の整理をしながら静かに待ち望みます。クリスマスの由来や歴史を学び、飾りの一つひとつに祈りや願いが込められていることを知りました。

中下企画 3月15日(土)  
東京ジャーミイ

トルコ文化センター



### 「イスラム教のあれこれ」

東京ジャーミイ・トルコ文化センター訪問

イスラム教は「形」を大切にする宗教です。礼拝という形によって心が育まれます。信仰告白など目に見えない声も大切な形のひとつです。コーランも同じことで声を耳に入れる「形」を大切にしています。イスラム教の真骨頂はメッカ巡礼です。山に登って頂上へたどり着いた時、体はボロボロになっても心が満たされるのに似ています。断食月「ラマダーン」には日没まで水や食事を摂らず、日没後、最初に口にする水が本当においしい。普段は忘れていた食べ物のありがたさを感じる1ヶ月間、心身をリフレッシュ・リセットするラマダーンです。

第15回 4月19日(土)  
日蓮宗大本山

池上本門寺



### 「修行僧の毎日」

池上本門寺布教部 角田堯韻

池上本門寺の修行僧「隨身生」は掃除や法要の準備、お経練習などお坊さんらしい修行、そして書道・華道・茶道も学び、夜は立正大学で授業を受ける大学生です。本門寺で行なわれる行事の裏方も務め、日常は電話対応など事務的な業務、さらに身の回りの掃除・洗濯などもしなければなりません。隨身生生活は「四六時中、お坊さんでいられる期間」であり、仏教を体に染み込ませる貴重な時間でもあります。法華経の教えを自分の価値観として浸み込ませ、日々の生活の中に実践することができれば、仏さまと同じものの見方ができることとなります。生きているうちに仏に成ることができるというのが『妙法蓮華経』の教えです。

# 寺ネット・インフォメーション

寺ネット・サンガのホームページがリニューアルされました。 <http://teranetsamgha.com>

「イベントスケジュール」「過去のイベント」などの他、「中下代表のブログ」「サンガの僧侶の法話」「会員の記事」など、サンガの仲間たちの楽しい情報交換の場です。ぜひご覧ください。



寺ネット・サンガ 寺ネット・サンガは、お寺やお坊さんと一般のかたとの縁結びの場です。  
習熟あまり話すことのない「生きる事」「あの世」「死」や「仏」についてお坊さんと語り合ってみませんか？

模擬奉仕 座禅体験 仏前結婚式 肝試し 神社でお祓い

法話 坊 法話はいかが？ 会員僧侶の法話

会員寺院からのニュース

## 正会員はホームページ上の「会員の記事」に投稿ができます。

事務局にお申し出いただきますと、正会員用アカウントを発行させていただきます。ログインして「会員用のマニュアル」に沿って、登録や記事の投稿をしてください。

なお、投稿に際しては、以下のことをご確認ください。

### 【投稿内容ルール】

#### ○望ましい記事

- ・ 仏教関係で公共の利益になる情報や告知・知識など
- ・ その他、生き生きと生活するための公共の利益になる情報や告知・知識など

#### ○投稿可能な記事

- ・ 仏教以外の宗教で公共の利益になる情報や告知・知識など
- ・ 正会員が独自に行っているイベントのお知らせ・情報等は結構ですが、利益追求型の広告をご遠慮下さい。
- ・ 個人的な趣味等でも、皆が楽しめるようなものでしたら結構です。
- ・ コラムのようなものでも常識的な内容であれば結構です。

#### ○投稿不可な記事

- ・ 個人・団体への誹謗や中傷、その他、読んだ方の多数が気分を害されることは禁止です。
- ・ 特定の政治的な色合いが強いことも基本的には禁止させていただきます。
- ・ 品物、サービスなど、販売目的の広告のような使い方は禁止です。

#### ○注意事項

※上記に反した内容、また、以上になくても事務局の判断で正会員に断わりなく記事の掲載を停止する場合があります。

※上記のルールは事務局で予告なく変更する場合があります。

※記事の掲載にあたって正会員が不利益を被った場合などは当事者同士での解決をお願いいたします。その際、寺ネット・サンガは関与することはございませんのでよろしくをお願いいたします。

寺ネット・サンガ 事務局